



男子フロア サッカー観戦



男子ユニットは11月9日に清水エスパルス vs セレッソ大阪のサッカー観戦に行ってきました。

日頃からテレビで試合を録画するほどサッカーが好きな子どもたちにとって、生のサッカー観戦はとて新鮮で、行きの車中からどっちが勝つのか、誰がシュートを決めるかと予想をし、帰りの車中でも試合の結果について振り返り、興奮冷めやらぬといった様子で長い道中も目一杯楽しみました。当日は生憎の雨で寒さも予想されましたが、白熱した試合と歓声に心も体も熱くなっていました。

最近では休日になると園庭でサッカーのミニゲームをして遊んでいます。これから更に寒さが増していきますが、寒さに負けず元気に身体を動かしてほしいと思います。

男子ユニット担当 児童指導員



寄付

- 木内建設様 ●小野田孝男様 ●株式会社ファーストリテイリング様
- ほっともつ様 ●静岡県遊技業協同組合様 ●日本鏡餅組合様
- 富士植松農園様 ●PINE HILL 様 ●毎日新聞東京社会事業団様
- 伊豆今井浜東急リゾート様 ●耕月寺 甲賀祐慈様 ●石田公彦様
- 全国シャンメリー協同組合様 ●三好一恵様 ●太田智様
- 株式会社北里コーポレーション様
- プレイステーションタムラ伊東店様
- 大東建託リーシング株式会社沼津店様
- みんながサンプラプロジェクト2025様



- 学習ボランティア 紀藤信哉様
- 伊豆高原きらめき様 ●オノレ様

子どもたちに楽しいひと時を提供していただいております。みなさまのご協力には大変感謝しております。

連絡事項	
身長	cm
体重	kg

川奈臨海学園基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるよう支援を行う



帰省期間

3月19日～4月3日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しております。

尚、予定されている帰省期間は、感染症の流行状況に応じて変更する可能性がありますので、ご承知おきください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年の12月からインフルエンザなどの感染症が流行し、学校閉鎖が起きてしまうほど寒暖差の激しい日々が続きますが、職員も寒暖差に負けず2026年も毎日元気に子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。

(4)

令和7年度

学園だより

第578号 冬号

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL https://www.saiseikai-kawana.jp

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

川奈臨海学園は令和7年10月に開園70周年という節目を迎えました。その間、約2,600人の子どもたちが当園から巣立っていきました。そして、新たな歴史を刻んでいく第一歩として、令和8年が始まります。皆様にとって、穏やかで健やかな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年の夏は猛暑を乗り越えて酷暑と言われる日が多くあり、秋を心待ちにしていたのですが、秋めいてきたと感じ出すと急に肌寒くなり冬を迎えてしまいました。日本は四季がはっきりしており、それぞれの季節で異なる気候、自然（桜、紅葉、雪景色など）、旬の食材、祭りや

施設長 高橋麻紀

文化（花見、浴衣、和歌など）が楽しめることも魅力の1つでしたが、最近では地球温暖化の影響で四季が二季になりつつあるとも言われるようになってしまいました。しかも、今年の冬は寒暖差に身体が慣れる前にインフルエンザなどの感染症が流行し、学級閉鎖を乗り越えて学校閉鎖が起きてしまいました。感染症の拡大のみでなく、近年は異常気象や自然災害と向き合わなければいけない機会も増えてしまっていますが、それらに負けることなく、子どもたち・職員と共に笑顔で過ごしていければと思っています。

「笑う門には、福来たる」を合言葉に、1日1日を大切に過ごしていきましょう！！



幼児低学年フロア

幼児低学年フロアは富士サファリパークへ行ってきました。生憎の雨ではありましたが、車内から様々な動物を見たり、エサやり体験をしたり、動物とのふれあいを楽しむことができました。サファリドライブでは、前から歩いてくるライオンに驚いたり、動物の生態の新しい発見をしたり、普段近づく事のない距離にいる動物たちに大興奮の子どもたちで車内は大賑わいでした。

富士サファリパーク



ふれあい体験では物怖じせずふれあいやエサやりが出来る子、また、ふれあいやエサやりが怖くてできなくても犬とだけはふれあいが出来る子など、子どもそれぞれの動物とのかわり方を見ることができ、新しい一面も発見することが出来ました。

最後は、それぞれサファリパークで好きになった動物のぬいぐるみやグッズを買って帰園しました。これからも外出を通して様々な経験をしてほしいと思います。

幼児低年齢ユニット担当 保育士





地域小規模施設あおぼ

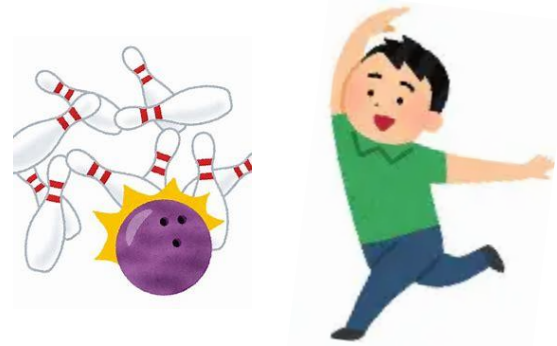
ゲームセンター

11月上旬、あおぼ児童4名と外出に行ってきました。本当は、急ぎ足で過ぎて行くこの季節をゆっくり味わう時間としたかったのですが、午前中はゲームセンター、午後はボウリング場へと行ってきました。

ゲームセンターといっても、一昔前のような密集した感じのものでなく、広々としたその空間は児童らが一目散に駆け出して行くほど魅力的な場所のようで、滞在予定時間もお小遣いもあっという間に使い果たす程でした。

その後、同敷地内にある「〇〇の王将」にて、早い昼食を摂り、場所を移してボウリングを行ないました。初めてボールに触る児童もおり、並べられたピンに向け投げているはずなのに、なぜかボールが後ろに転がってきたりするなど、真似しようにも真似できない投球術が目の前で展開され、私自身にとっても緊張感を持ったボウリング体験となりました。とても濃い1日でした。

地域小規模あおぼ担当 児童指導員



地域小規模施設わか

テニス



さわやかな午後、わかかなの児童みんなで近くのテニスコートに行き、思いっきりテニスをして来ました。運動不足な職員も、この日ばかりはダラダラできません。子どもたちと一緒にテニスコートの中を走り回りました。いつも活発に運動している子どもたちですが、「テニス」となると勝手が違うようで、ラリーを続けるのにも一苦労。2、3回打つとボールは明後日の方向に飛んで行ってしまいます。

最初ボールはいくつかあったのですが、何度も茂みに打ち込んでしまい、その度「わーわー」言いながらボールを探さなければなりません。

右に左、前に後ろに飛んで行くボールを必死に追いかけるというハードな運動が続き、テニスコートのレンタル時間が終わる頃にはいくつかあったボールは残り1個だけになっていました。上手にできなくてもみんな笑顔でボールを追いかけてました。とても楽しい時間でした。

地域小規模わかかな担当 児童指導員



女子フロア 三島スカイウォーク



10月26日、三島スカイウォークへ外出に行きました。当日は雨予報で天候が心配でしたが、午前中には雨も上がりアスレチック体験を行うことができました。

去年も三島スカイウォークのアスレチックを体験している為、子ども達は軽快に綱渡りをしたり、ジップスライドを楽しそうに滑ったりと余裕を見せていました。初めて体験をする子どももいましたが、慣れてくると上手に障害物をくぐり抜ける事ができました。

最後に、往復で560メートルのロングジップをすることとなり、これまでのアスレチックによる特訓の成果を発揮する時がきました。ジップ中は霧が凄く曇っていましたが、雲の隙間から見える富士山はとても綺麗でした。アスレチック体験は「また行きたい」という子ども達からの希望でもあり、久しぶりのアスレチックに大満足だったようです。今度はアスレチック以外の乗り物や別のコースを子ども達と体験したいと思いました。

女子ユニット担当 児童指導員



頑張れ!

